

みずのわ

学校だより
【第2号】

令和3年4月30日(金)
石巻市立石巻小学校

【ぬか漬け】

コロナ禍のため、気軽に外出することもままならず、家の中で何か新しく始めることはないかと考え、思い立ったのが「ぬか漬け」です。ホームセンターから、ぬか漬けのセットと容器を購入し、「毎日おいしい漬物を食べるぞー」と意気込んで始めました。説明書にあるとおりにぬか床を作り、三日目くらいからはキュウリやニンジンを入れ、私が想像していたぬか漬けの味には程遠いものの、まあそれなりに食べられるものを2回、3回と作ることができました。

しかし、一日ぬかを混ぜるのを怠ったところ、発酵が進んでしまい、水気の多いぬか床に……。何とか回復させようと、ネットで調べたところ、水気をキッチンペーパーで取るとか、塩をもっと入れるとか、トウガラシを入れるとか、果てはビールを入れるといいとか……。馬鹿な私は全部やって、しかもビールを多めに入れて、その結果、回復不能な状態になってしまいました……。

こんなんであきらめるものか、再び始めたものの、今度はセメダインのような強烈な臭いを発し、またもや失敗。置き場所の問題もありますが、一番の原因は、やはり、かき混ぜを怠ったためだと思われました。だらだらと1時間もテレビを見ているのに、わずか2分の作業をサボるとは情けない限りです。

反省し、そこで考えました。大事なことは、ぬか漬けを愛情たっぷりに可愛がってあげること。子育てと全く同じです。再び、チャレンジし、今度はネット情報にも振り回されず、どうしてほしいのか、ぬかの声を聴きながら、朝に晩に「おいしくなあれ、おいしくなあれ」とかき混ぜています。その様子を見ていた妻が、「うちの子供たちも、このくらい可愛がってもらえたなら、もっと違ったのにねえ……。」

……そんな声にもめげずに、日々愛情込めてかき混ぜています。



スガワラSグランドホテル 菅原柊翔作

【1か月経過して】

新学期がスタートして1か月が経過しました。この1か月のお子さんの様子はいかがでしたでしょうか。年度の開始に当たり、一人一人、一年間あるいは1学期の目標を立てましたが、私から見て、やる気に満ちて学校生活をスタートさせた子が多いように感じています。昨年度の今頃は臨時休業真ただ中だったことを思えば、今年度は順調な滑り出しだったと言えると思います。

しかしながら、宮城県は「まん延防止等重点措置」の適用を延長しましたし、新聞には県内のどこかの学校の休校が毎日のように報道されています。ここ石巻市内の学校も例外ではありません。今の状況は、すべての学校において、いつ感染者が出てもおかしくない状況です。こうした状況の中、本校で注力することは大きく次の2つであります。

○学校内で感染を拡大させない手立てを日常的に講じること。

○感染者への誹謗・中傷・差別を決してしない教育をすること。

さて、明日から連休です。感染症対策の上、有意義なお休みにしてください。

(校長／川田知宏)